



# みやぎ

— 76号 —

## コロナ感染対応を振り返って ～宮城病院のチーム力を感じた～

看護部長 菅野 清子

今年4月にあきた病院より転勤してまいりました、看護部長の菅野清子です。前任の宮里看護部長から「3月28日から南b病棟はコロナ専用病棟として運営する」と引継ぎを受けて、「大変なところに来てしまった！」と不安の始まりでした。まだ、宮城病院の構造がわからずに道に迷っている4月14日に、重心病棟で、クラスターが起きました。ゾーニングやガウン・手袋・マスクのフルPPEを行っても、患者さんや職員の感染は止まらず、患者43名・職員20名が感染しました。更に追い打ちをかけるように5月8日には、別の病棟での患者感染が確認され、患者9名・職員2名が感染し、オミクロン株の感染力の強さに「絶体絶命！」な気持ちになりました。

この時期は南b病棟にはまだ入院患者が少なく、南b病棟の看護師に、重心病棟に応援に入ってもらうことができたことはとても心強かったです。また、仙台医療センターと仙台西多賀病院から看護師の業務援助も受けて、病棟の看護体制を整えることができました。保健所や東北大学の感染チームからの指摘も受けて、感染管理について改めて発見することもありました。沢山の支援を受けながら、6月8日に収束宣言することができて本当に良かったです。

ギリギリの人員での看護を行う日々の中で、超過勤務も多くなり、看護スタッフの頑張りには本当に感謝いたします。看護スタッフだけでなく診療部・事務部の支援や、ICDの仁村先生とICNの鈴木副看護師長がフットワーク軽く動いてくれたことで、ピンチを乗り越えました。次々に起こる感染に対して、前回よりも感染を広げることなく、最小限に食い止めることができたのは、経験を活かしながら迅速に対応できたからだと思います。宮城病院の全職員が一丸となったチーム力と言えます。

一番つらい思いをしたのは患者さん達でした。自室から出ることができず、他の患者さんとの交流はなく、フルPPEで接する看護師の表情もわからない毎日は、無味乾燥な2か月だったはずですが、病棟閉鎖を解除した日に、早速入浴を行ってピカピカになった患者さんの笑顔は、私達の心まで明るくしてくれました。この苦難の期間、宮城病院の感染対応にご理解と、更に励ましの言葉をくださったご家族の皆様にも感謝いたします。

収束宣言をするまでの48日間は、すべての会議・研修をストップしていましたから、病院としての機能が止まった状態でした。このような中でも、医療・看護を提供し続けられるように体制を整えることが、管理者としての役割です。また新たな脅威が迫るかもしれません。今回の経験を経て宮城病院は、あらゆる苦難に立ち向かう力のある組織であると自負しております。



不安や苦痛の中、懸命にケアに当たる看護師

たくさんの検査をする臨床検査技師

電話対応におられる事務職員

### 基本理念

『良い医療を安全に、心を込めて』

### 行動理念

1. 私たちは生命と人権を尊重し、患者さんを中心とした質の高いチーム医療を推進します。
2. 私たちは難病、重症心身障害など国が担うべき医療と臨床研究を推進します。
3. 私たちは地域の医療・行政機関と連携し、地域の方々の疾病予防や健康の向上に貢献します。
4. 私たちは病院の機能を十分発揮できるよう、健全な経営と経営基盤の強化に努めます。
5. 私たちは常に患者さん方から学び、向上する組織体を目指します。
6. 私たちは常に明るく働きがいのある職場づくりに努めます。



宮城病院公式マスコットキャラクター

「みやべりー」

宮城病院  
Instagram



※読み取ってください

## 山元町クリーンキャンペーン

今年も山元町・亶理町からのボランティアのご協力をいただき、10月15日宮城病院クリーンキャンペーンが開催されました。昨年は雨天のため途中で中止になりましたが、今回は天候に恵まれ、薄曇りの中、途中晴れ間をのぞかせながら、約2時間にわたる環境整備作業を無事実施することができました。

宮城病院は約11万平米という広大な敷地と緑豊かな自然に囲まれています。その広大な敷地ゆえに管理も難しく、職員の手だけではあっという間に草が生い茂ってしまいます。

第8回目となるクリーンキャンペーンは山元町・亶理町・宮城病院の相互協力協定に基づく事業で、各行政区の皆様、企業の皆様のボランティア活動により開催されています。今年では事業開始以来初めて、300人を超える参加者となり、改めて皆様のご協力に感謝いたしているところです。



橋元山元町長にも冒頭ご挨拶をいただき、地域医療における宮城病院の役割につきまして、「なくてはならない存在」とお言葉をいただきました。宮城病院の永野院長からも地域医療を支えていきたいと、両町と宮城病院の相互協力関係を改めて感じさせられた機会でした。

多くの皆様のお陰で、生い茂っていた草木はほとんど取り払われ、整備が行き届かなかった旧病棟付近もたちまち綺麗になっていきました。高所作業車も入っていただき、電線に覆い被さっていた木々も綺麗に伐採していただきました。

皆様のお陰で見違えるほど綺麗な宮城病院になりました。ご協力本当にありがとうございました。

(管理課長 増田 和美)



## 山元中学校キャリア学習「職業人の話を聞く会」

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中学2年生を対象とした職場体験学習が中止となり、別の形でキャリア学習の場として設けられたこの機会に、病院の機能や働く人々の仕事の内容についてオンラインでお話させていただきました。

生徒さんからは「宮城病院に多くの患者さんが入院していることにびっくりした」「看護師が交替で24時間働いていて、カレンダー通りの休みじゃない事を知らなかった」「お医者さんが一番忙しくて大変だと思っていたけど看護師の方が忙しそうだと感じた」「看護師になるにはどうしたらいいのか、そして沢山勉強しなければならないことが分かった」「病院で働いてみたい」などの感想を頂きました。

病院の理念である「良い医療を安全に、心を込めて」が心に残ったとの声もあり、地元の宮城病院を知ったことが、進路を模索するきっかけになれば幸いです。



(副看護部長 村上 美佳)

## 地域医療連携室から～地域医療連携室・医療相談室について～

地域医療連携室には看護師2名、医療ソーシャルワーカー3名が勤務しています。

地域医療連携室の主な役割は「患者さんが医療や介護を切れ目なく受けることができるよう、当院と地域をつなぐこと」と「患者さん・家族の心配事や不安を軽減することができるようお手伝いすること」です。

具体的には、当院に紹介となった患者さんや、当院から他院へ紹介となった患者さんの受診や転院の調整をしたり、介護が必要な患者さんには、情報を提供しながら、介護・福祉サービス事業所との橋渡しをして、必要な介護サービスを受けられるよう支援しています。

また、「病気や治療、受診」「入院費用や医療費などの経済面」「難病や障害者手帳の申請」についてなど、多分野の相談を受け付けています。病状や生活の様子をうかがったうえで、内容に応じた制度の紹介や手続き方法について説明しています。

気になることがありましたら、地域医療連携室にお気軽にご相談ください。お電話でも対応いたします。今後も広報みやぎの中で、社会資源等について説明させていただきますので、引き続きご覧いただければと思います。



(地域医療連携係長 阿部 直美)

## 部門紹介 ～療育指導室～

療育指導室は、明るく元気がモットーの児童指導員2名、保育士5名で構成しています。

主に重症心身障がい児(者)病棟に入院している患者様の療育活動を中心とした日中活動支援やご家族を含めた相談及び援助を職種間で連携し一体となって業務を行っています。

今年度、4名の新しいメンバーが加わり、さらに活気が溢れパワーアップしましたのでご紹介させていただきます。これからもよろしく願いいたします。

(①氏名②職名③出身地④趣味・特技⑤〇〇の秋！(みなさんへひとこと))

(保育士 佐々木 藍)

- ① 菊地 春希 (きくち はるき)
- ② 児童指導員
- ③ 宮城県
- ④ アニメ・漫画鑑賞
- ⑤ 食欲の秋！

～おいしいものをたくさん食べて元気に頑張ります～

- ① 田中 智沙 (たなか ちさ)
- ② 保育士
- ③ 宮城県
- ④ ドライブ
- ⑤ スポーツの秋！

～たくさん身体を動かして元気に明るく頑張ります～

- ① 田代 恵子 (たしろ けいこ)
- ② 児童指導員
- ③ 岩手県
- ④ お菓子作り・ハイキング
- ⑤ 紅葉の中でおにぎりの秋！

～毎日元気にみなさんと過ごしていきたいです。よろしく願いします～

- ① 我妻 美結 (あがつま みゆ)
- ② 保育士
- ③ 宮城県
- ④ アニメ鑑賞・グッズ収集
- ⑤ 芸術の秋！

～お絵描き大好き！！元気いっぱい頑張ります～



## 福島県沖地震の復旧状況について

令和4年10月現在、福島県沖地震災害復旧工事の進捗状況です。12月中の完了を目指し、各建物の外壁補修は最終段階となっています。現在は外来管理治療棟、中央病棟と南病棟を行っています。4階建ての中央病棟と南病棟には、全体的に足場がかかり、約1か月以上もの間、外の景色が全く見られない状況が続いております。入院患者様にも大変ご迷惑をお掛けしておりますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

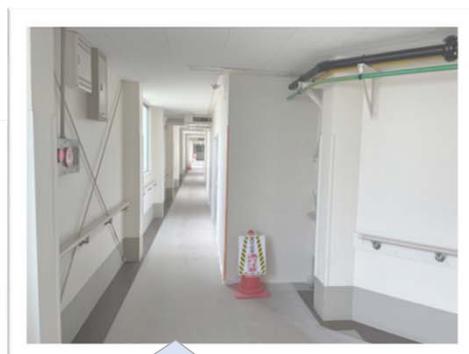
建物内部の補修については、各病棟や外来管理治療棟の補修が日中と夜間帯に行われています。特に外来エリアは建物修繕による解体や壁面撤去による騒音が鳴り響いています。南病棟への渡り廊下についても、片側通行となり、大変不便な状況が続いています。宮城病院を利用する皆様には騒音や一部トイレの使用制限など、大変ご迷惑をお掛けしておりますが、ご理解ご協力をお願いいたします。今後も「広報みやぎ」を通じて、進捗状況について報告いたします。

(企画課長 大坂 雄二)



院内の内壁補修の様子

中央病棟などの  
外壁補修の様子



南病棟への渡り廊下の様子

## 事務室移転について

8月下旬より災害復旧ローテーション工事のため、事務部門が外来管理治療棟より、デイケア棟（旧水治療室）に移転しました。長年使用した事務室の移転では、膨大な書類整理や物品整理を計画的に行い、事務室内の各種警報盤なども移設しました。移転当日の休日は、事務部職員が全員参加で効率よく移転先事務室に無事移転しました。最終的には、12月中に現在工事中の外来管理治療棟エリアに戻る予定です。

今後も災害復旧ローテーション工事で外来管理治療棟内部復旧のため、各部門及び外来エリアの各診療科ローテーション工事を行います。10月上旬には医局エリアが旧事務室エリアに移転を行いました。更に今後は薬剤部が3階に移転し、現在の薬剤部が外来診察エリアとなります。それに伴い、各科外来の診療エリアが一時変更となります。12月まで外来患者様には、大変ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

(企画課長 大坂 雄二)



旧事務室（移転後）

新事務室（移転前）



新事務室（移転後）

# 第76回国立病院総合医学会

今回の学会は3年ぶりに現地開催となりました。全国から4000人近くの関係者が、開催地である熊本に集まりました。開会式では熊本出身の井出らっきょさんが司会者で、たくさんの笑いと拍手で会場が盛り上がりました。コロナ禍ということで、手指消毒やマスク着用などの感染対策を徹底した上で、病院や職種の垣根を越えて交流をすることができました。

私自身はポスター発表で参加しました。それぞれの病院での取り組みを知り、自院でも活用していきたいアイデアに出会うことができました。質問などで議論が深まることで、ポスターには書かれていない部分や、今後取り組んでいきたい活動なども知ることも出来ました。掲示されているポスターにはCOVID-19に関する演題も多くみられ、興味深いものがたくさんありました。学会に初めて参加した3年目のスタッフは、とても緊張していましたが、自分たちの活動を堂々と発表している姿を見てとても頼もしく感じました。

学会に参加することで、改めて日々の看護を探究する重要性を感じ、視野を広げるよい機会となったと思います。

(副看護師長 丹 育子)



## ストレスマネジメント研修

ストレスマネジメントの基本はストレスと上手につき合い、ストレスを上手にしのごことであり、その目的は、ストレスのない状況よりもストレスを刺激にし、ストレスの有害な影響に制限を加え、人生の質と活力を保つことにあります。

新人看護対象に実施された今研修から、「心をメンテナンスする方法」をご紹介します。また今回は研修では行わなかった「体をメンテナンスする方法」についてもご紹介。

例を参考にしてセルフメンテナンスをしてみてください。

「よりよい職場環境を築くために自分ができること」を考えながらお互いさまの気持ちを持ち、周囲の人と協力し合えるよう心掛けていきたいものです。

(看護師長 内海 麻耶)

### 1心をメンテナンスする方法

●過去の経験から自分にエネルギーを与えてくれる人、活動、場所は？

人	活動	場所	理由
高校時代の親友			理由 否定せず、自分の話を聞いてくれる。会うと元気で前向きになるから
	学生時代にやっていたテニス		理由 テニスをしているときは、仕事のことを完全に忘れることができるから
		静かな海沿いのカフェ	理由 自然の近くで何の音も聞いていないと、小さなことはどうでもよくなるから

### 2体をメンテナンスする方法

●体の健康を保つために「やってみようと思うこと」、「やめようと思うこと」それぞれ書いてみましょう。

	やってみようと思うこと	やめようと思うこと
睡眠の質を上げるために	朝起きたらカーテンを開けて熱めのシャワーを浴びる	夜中にダラダラとスマホを見ること 寝室に持ち込むこと
食事の質を上げるために	意識的に豚肉を食べるようにする	朝食を抜くこと
疲労を蓄積させないために	電車通勤から自転車通勤に変えて体力をつける	疲れているのに友達との飲み会に行き遅くまで遊ぶこと

●今までに試したことが無いけれど、自分にエネルギーを与えてくれそうなことは？  
もしスタートするとしたら、初めの一歩は？

ずっと自分で着物を着ることができたらいいなと思っていた。  
まずは、近くに教室はあるか探してみよう。

診療科	曜日	月	火	水	木	金
脳神経内科 (新患は予約制)	新患	中屋 亮彦	渡辺 靖章	宮澤 康一	松本 有史	平良 摩紀子 (第1・3)
	再来	永野 功	高井 良樹	永野 功	中屋 亮彦	中屋 亮彦
		渡辺 靖章		松本 有史	金子 仁彦 (第2・4)	
内科		清野 仁	清野 仁	志澤 聡一郎	清野 仁	清野 仁
		志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	齊藤 秀行	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎
		齊藤 秀行				菊地 章子
循環器内科	午前			加藤 浩	東北大学病院から	
	午後	東北大学病院から (検査日)				
呼吸器内科			佐野 寛仁			齋藤 悠
消化器内科	午後			県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週(木を基準)	県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週(木を基準)	
外科 (総合診療外科)	午前	八巻 孝之	八巻 孝之		八巻 孝之	
	午後		(手術日)		(手術日)	
アレルギー科	午前	堀川 雅浩		堀川 雅浩		堀川 雅浩
小児科	午前	堀川 雅浩		堀川 雅浩		堀川 雅浩
		東北大学病院から		東北大学病院から		東北大学病院から
整形外科	午後					県立がんセンターから (13:30~15:30)
形成外科				舘 一史		澤村 武 齋藤 香奈 (隔週交替 13:30~15:30)
皮膚科					東北大学病院から	
脳神経外科		仁村 太郎	安藤 肇史	仁村 太郎	(手術日)	安藤 肇史
			永松 謙一 (不定期)			
歯科		稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子
		中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来	パーキンソン病外来	脳神経内科外来にて随時受け付け				
	頭痛外来	脳神経内科外来にて随時受け付け				
	もの忘れ外来	脳神経内科外来にて随時受け付け				
	ALS外来	脳神経内科外来にて随時受け付け				
	ふるえ外来	脳神経外科 (予約制)		脳神経外科 (予約制)		脳神経外科 (予約制)
	糖尿病外来				東北大学病院から	
	禁煙外来	午後				山本 蒔子 (第2・4週)
	女性外来	午後				山本 蒔子 (第2・4週)
	腎臓病外来	午後			若林病院から (第1・3週)	
	入れ歯外来			白石 成		重光 竜二

受診される方へ-----

- ①受付時間は8:30~11:00です。
- ②土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。  
ただし、**急患の方は随時受付いたします。**  
お問い合わせ先 0223-37-1131
- ③初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に**2750円を負担**していただくこととなりますので予めご了承ください。

交通のご案内-----

- 自動車でおいでの方●
  - 仙台方面から■  
仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線と6号線分岐点から南へ20km、国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。高速道路ご利用の場合、常磐自動車道山元ICで降り、国道6号線を相馬方面へ南下。山元ICから約5km。
  - 相馬方面から■  
国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。
- 交通機関をご利用の方●
  - 仙台方面から■  
JR常磐線山下駅下車。タクシーまたは町民巡回バス利用。  
(詳しくはお問い合わせください)

